

屋根の傾斜水密性試験



一般財団法人

日本建築総合試験所

屋根の傾斜水密性試験では、暴風雨時に屋根からの雨水の浸入の有無を確認します。

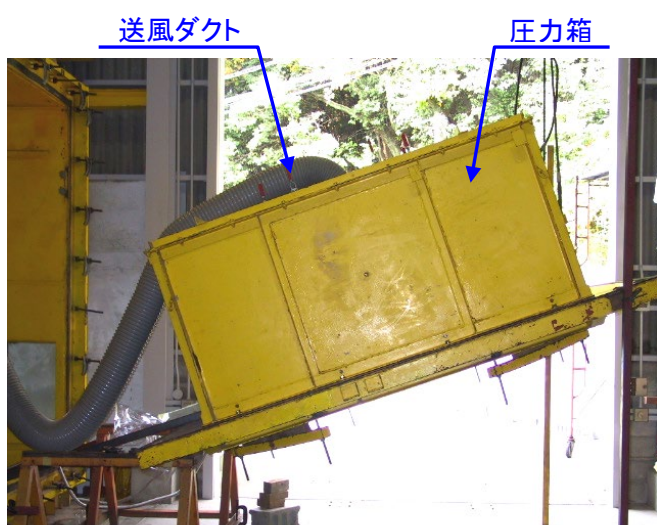
屋根の水密性とは

屋根の水密性とは、暴風雨時に屋根ふき材の隙間からの雨水の浸入をどの程度まで防ぐことができるかを表します。建物や居住者にとって、雨水の浸入は好ましくなく、屋根の水密性は雨水の浸入を防ぐ上で大切な性能です。

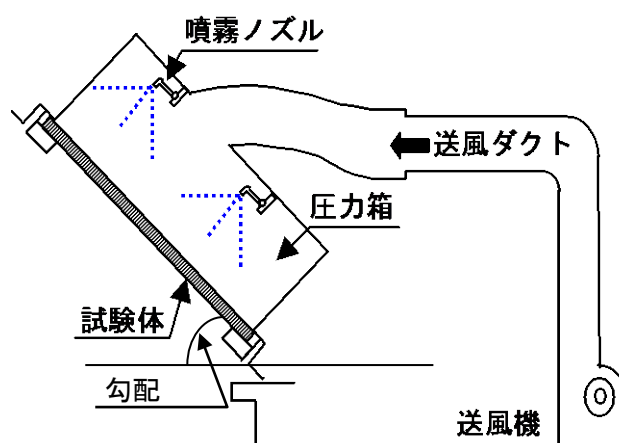
屋根の傾斜水密性試験

下図のように試験体を圧力箱に取付け、屋根の勾配を指定された角度に傾斜させ、1分間当たり 4 L/m^2 の水を噴霧しながら、脈動圧(周期的に変動する圧力)を加えます。

試験中は屋根ふき材の隙間からの水の浸入の有無を観察します。なお、圧力箱の角度は 0° (水平) ~ 90° (鉛直) までの調節が可能で、試験体は屋根の他、トップライト(天窗)などの試験を行うことができます。



屋根の水密試験状況



屋根の水密試験装置

【関連規格】 JIS A 1414-3 「建築用パネルの性能試験方法—第3部:温湿度・水分に対する試験」

JIS A 1517 「建具の水密性試験方法」

【試験体】 屋根材, トップライト等

【試験体寸法】 W2.0m × H2.0m (鋼製枠の外寸法)